

2026年3月末時点

■事業計画演習（全 658 件）

A-1. テーマ分布

事業計画演習は、「IT/DX」「医療福祉」「金融」が三大ボリュームゾーンで、次いで教育・人材、地域、食・農、不動産などが続きます。

領域	件数	構成比
IT・DX：アプリ、Web プラットフォーム、データ活用など	155	23.6%
医療・ヘルスケア・福祉 治療、検診、介護、メンタルなど	84	12.8%
金融・投資・保険：ローン、投資、保険、信託、決済など	76	11.6%
教育・人材・キャリア：研修、教育コンテンツ、人材紹介など	62	9.4%
地域活性・社会課題：地域資源の活用、コミュニティ、社会課題解決型など	52	7.9%
農業・食・飲食：食品・飲食、農業、地産地消など	44	6.7%
不動産・住宅・建設	39	5.9%
観光・旅行・インバウンド	24	3.6%
エンタメ・文化・スポーツ	20	3.0%
環境・エネルギー	17	2.6%
その他（上記に明確に寄らないもの）	85	12.9%

A-2. 傾向

- ・「プラットフォーム化／マッチング」発想が頻出
- ・需要側と供給側をつなぐ（仲介、比較、マッチング、予約、シェア等）構造が多く、題材としても説明しやすい。
- ・“社会課題×事業化”が強い
- ・高齢化、健康、育児、地域、働き方など社会側の課題を、サービス設計へ落とし込むタイプが目立ちます。

■組織変革演習（全 58 件）

B-1. テーマ分布

組織変革演習は、「IT/DX」が最多で、次いで「その他（個別組織課題・運用課題として多様）」と「教育・人材（人事・育成・制度）」が続き、金融が続きます。

領域	件数	構成比
IT・DX：業務改革の手段としての IT 活用（例：RPA 等）	20	34.5%
その他 個別の組織課題：体制・運用・管理・改革テーマ（単一業界語に寄らない）	15	25.9%
教育・人材・キャリア：人材育成、制度、評価、研修など“人と組織”に関する改革	13	22.4%

金融・投資・保険 ：金融業務・金融組織に紐づく改革テーマ	5	8.6%
医療・ヘルスケア／福祉 ：医療・製薬等の組織テーマが一部	3	5.2%
不動産・住宅・建設	1	1.7%
環境・エネルギー	1	1.7%

B-2. 傾向

- ・テーマが“社内実装（運用・体制・人材）”に寄るため、業界よりも“課題タイプ”で多様化しやすい
- ・データでも「働き方改革」「体制改革」「制度・運用改善」等の、組織課題そのものを扱うタイトルが見られる
- ・DX は“目的”というより“改革を進める手段”として登場しやすい
- ・IT・DX が上位に入る一方、起業型テーマよりも「業務改革」「運用改善」の文脈で現れやすいのが特徴

■ 修論ゼミ（全 78 件）

C-1. テーマ分布

修論ゼミは、「金融」が最大ボリュームで、次いで「その他（上記に明確に寄らないもの）」「医療・健康」「地域・社会課題」が続きます。IT/DX や教育も一定数ありますが、事業計画演習ほど「サービス設計」よりも、制度・産業・経営課題の分析・提言寄りに見えます。

領域	件数	構成比
金融・投資・保険 ：銀行・Fintech・住宅ローン等	19	24.4%
その他（上記に明確に寄らないもの）	16	20.5%
医療・ヘルスケア／福祉	13	16.7%
地域活性・社会課題	11	14.1%
教育・人材・キャリア	6	7.7%
IT・DX	6	7.7%
農業・食・飲食	2	2.6%
環境・エネルギー	2	2.6%
観光・旅行・インバウンド	1	1.3%
不動産・住宅・建設	1	1.3%
エンタメ・文化・スポーツ	1	1.3%

C-2. 傾向

- ・成果物が「論文（リサーチペーパー）」で、実務上の示唆（インプリケーション）を重視
- ・「制度・産業構造・経営課題」を“分析して提言する”テーマが出やすい
- ・一覧からも、住宅ローンなどの金融テーマや e ラーニング活用の提言など、分析・提言型の題材が確認できる